



# ピースウイング長崎 情報BOX

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117

長崎市平野町7番8号

☎ 095-844-9922

2013.11.1

<http://www.peace-wing-n.or.jp>

No.159

「長崎市の平和・原爆」

フェイスブックページはこちら→



大盛況!

国連軍縮週間行事

# 市民のつどい

爽やかな秋晴れとなった10月26日、当協会では国連軍縮週間（10月24日～30日）に合わせて「市民のつどい」を開催しました。

会場には、当協会各部会のみなさんによる「工風船（継承部会）、折り鶴（国際交流部会）、原爆写真展（写真資料調査部会）、ミニコンサート（音楽部会）の各コーナーのほか、長崎県地域婦人団体連絡協議会と活水高校のみなさんによる戦時食コーナーや紙しばい会による紙芝居コーナー、綿菓子・ポップコーンコーナーを設け、多くの市民や小中学生らで賑わいました。

特に、綿菓子・ポップコーンコーナーと「工風船コーナー」は子供たちの行列が途切れることなく、風船用に用意したヘリウムガスが無くなってしまう一幕も…。

この「市民のつどい」で「見る」「聞く」「触れる」ことによって、あらためて戦争・原爆、平和について「考える」良い機会になったのではないのでしょうか。

また、「市民のつどい」開催にあたり、準備・運営に携わっていただいた長崎外国語大学の中国人留学生3人をはじめ、関係者のみなさまのご協力、誠にありがとうございました。



# 「長崎国際平和映画フォーラム 2013」が閉幕

10月19日～20日及び26日～27日の2週4日間に渡って「長崎国際平和映画フォーラム2013」（追悼平和祈念館主催）が開催され、のべ2,600人が来場しました。

期間中、映画やドキュメンタリー番組 21 作品の上映のほか、映画制作関係者によるトークセッションや二胡演奏、活水高校・小ヶ倉中学校の生徒による被爆体験記の朗読など様々なプログラムが行われました。

26日には、無名塾の俳優お二人と被爆体験記朗読ボランティア 29 人の出演による朗読劇「ヒロシマ・ナガサキ」（作・演出：稲塚秀孝氏）も上演され、大きな注目を集めていました。

映画フォーラムについては、会報「へいわ」140号（12月末発行予定）でも詳しくご報告させていただきます。



朗読劇「ヒロシマ・ナガサキ」の一場面

## 米国の核性能実験に対し抗議文を送付しました

オバマ政権下で10回目となる核性能実験が、本年7月から9月の間に1回実施されていたことが明らかとなり、当協会はオバマ大統領へ抗議文を送付しましたので、その文面を掲載します。

### 抗議文

2013年10月30日

アメリカ合衆国大統領  
バラク・H・オバマ 閣下

公益財団法人 長崎平和推進協会  
理事長 横瀬 昭幸

貴国が、本年7月から9月までの間に新型核性能実験を実施したことが明らかになりました。

このことは、被爆地長崎において官民一体となり核兵器廃絶・世界恒久平和の実現を目指している私ども「公益財団法人 長崎平和推進協会」にとって、到底受け入れることができない所業であります。

2009年4月の「ブラハ演説」を支持する声明を出し、本年6月の「ベルリン演説」にも新たな期待を抱いた当協会としては、裏切られた思いがしております。

貴国の行為に対し、人類史上で唯一、広島とともに核兵器のもたらす惨劇を体験した長崎の被爆者や市民は、大きな憤りと危機感を抱いております。いかなる形であれ、核兵器の維持や開発につながる行為は容認できません。

ここに、被爆地長崎の平和推進協会理事長として、今回の実験に強く抗議すると同時に、私どもの切なる訴えをお聞きいただき、全ての核兵器関連の実験を放棄して、地球上から核兵器をなくすため共に歩んでいただくよう要請いたします。

### ～主催・共催・後援事業などのお知らせ～

区分	事業名	日時	場所	主催者
----	-----	----	----	-----

### 11月は現在のところ、共催・後援の予定はありません

被爆者健康講話  
次回予告

第6回「身の回りの放射線」長崎大学大学院 佐藤 良信 先生  
[日時]11月21日(木)14:00～15:00  
[場所]追悼平和祈念館 地下1階研究室(長崎会場)  
福江総合福祉保健センター 2階研修室(五島会場)